

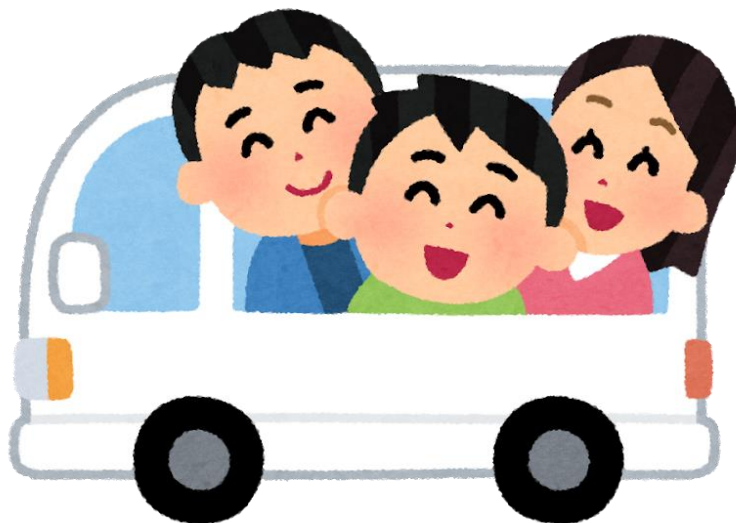
キャンピングカーの



運転のポイント

・キャンピングカーを借りて出掛けたり、乗ってみたい！と思っても「本当にキャンピングカーを運転できるか心配」と不安に思う方は多いのではないのでしょうか。もちろん普通車と同じように運転とはいきませんが、しっかりポイントを押さえていれば初心者の方でも大丈夫です。

・キャンピングカーならではの、危険性を知り、安全運転を心掛けましょう。基本的には一般車より**ゆっくり**走ることになる為、スケジュールの移動時間を長く見積もっておくのがお勧めです。



ご出発前に確認下さい。～運転のポイント10～

1 スピードに注意し、ゆっくり走りましょう



時速100km/h

あせらずゆっくり行こう



時速80km/h

・キャンピングカーは重量が普通車よりもかなりあるので、スピードを出し過ぎるのは危険です。

そもそも100Km/h以上を出すような設計になっていません。

速度を出し過ぎるとタイヤがバーストするといったリスクも上がるので、高速道路でも普通車の8割ぐらいの感覚でスピードを出しましょう。

・特にカーブや下り坂などは事前に若干スピードを落とすような運転を心掛ける必要があります。山道では後ろに渋滞が出来ても焦らずにカーブ手前で十分減速することを心掛けましょう。

速度の出し過ぎは事故につながることもあります。



風による横転



タイヤのバースト

スピードを出し過ぎると横転やタイヤの破損、横風にあおられる危険性があります。

・キャンピングカーはブレーキ制動の強さが普通車よりも弱いので、ブレーキを踏んでもすぐに止まらないので、早目のブレーキを心掛けましょう。

・橋の上など、横風が心配される道では落とし過ぎるくらいスピードを落とし、ハンドルをしっかり両手で持ちながら横風に対応しましょう。スピードが遅ければ遅いほど横風の影響を受けにくくなります。又、横を大型車が通り抜けて行く際、風圧で反対側に押し込まれる事もあります。突然そうなるので、焦って事故につながる可能性があるため、サイドミラーはこまめに確認し、大型車が近づいてきたら、心構えをするようにしましょう。来ると分かっているだけでも、対処の正確さが大きく変わります。

2 高さは何メートル？車幅は？高さ制限や横幅に注意しましょう

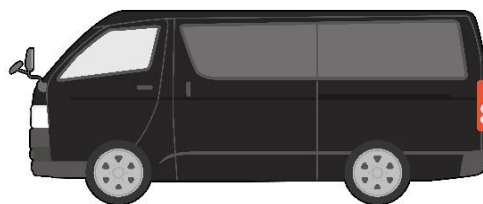
・事前に車体の大きさや燃料の種類を確認しましょう。

アミティのサイズと燃料



全長	4,690 mm
全幅	1,980 mm
全高	2,790 mm
燃料	レギュラーガソリン

ハイエースのサイズと燃料



全長	4,690 mm
全幅	1,690 mm
全高	2,230 mm
燃料	軽油



アミティは**レギュラーガソリン**

ハイエースは**軽油**です。

万が一入れ間違えたらまず貸主や店員に知らせ
絶対にエンジンをかけないで下さい。

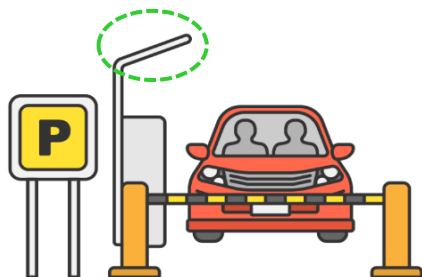
見えない
フロントガラス



・ほとんどのキャンピングカーは、長さが普通車とほとんど変わりませんが、車幅と高さは長いです。特に高さに気をつけて下さい。

また、フロントガラスの上端より高い位置に屋根があるので屋根を目視出来ません。

・出入口にゲートがあるコインパーキングは発券機の日よけが当たってしまいます。



・橋や駐車場の高さ制限には注意しましょう。



・アミティを例にすると車高は約**2.8M**ですので段差等も考慮すると**3M**以下の所は絶対に潜っては行けません。この高さで入れない所の具体的な場所については下記になります。

- ・自走式立体駐車場
- ・ドライブスルー

(マクドナルドは2.7M以下です)



・入浴施設を訪れた際、車寄せの屋根にバンクヘッドをぶつけて大破したという話もあります。

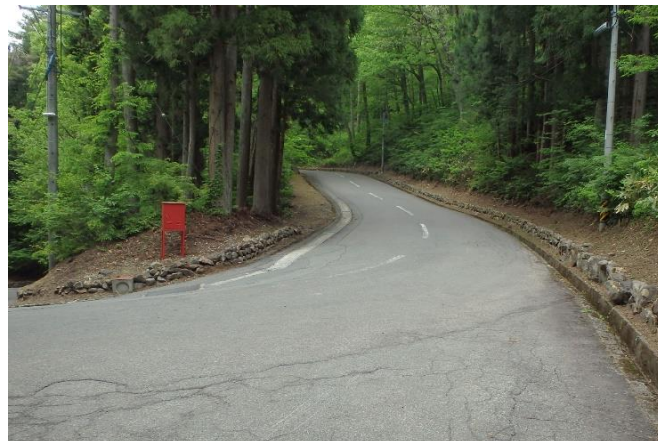
・マンションやビルのエントランス（車寄せ）は建物の屋根が低いことがあるので都度確認が必要です。

・商店街や細い路地の建物の軒下（対向車とのすれ違いに気を取られ過ぎてしまうと反対側をぶつけてしまうリスクがある事に注意しましょう。

・路肩の標識は駐停車しようと路肩に寄せ過ぎてしまうとぶつけてしまう事があるので注意が必要です。

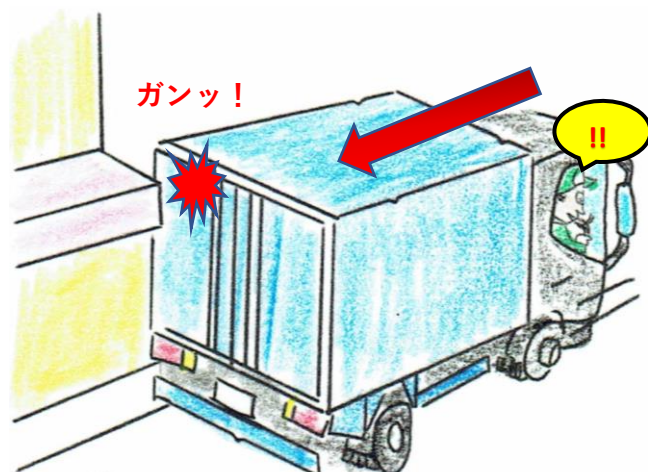


・路肩の街路樹、同じく駐停車時に思ってもいない太い幹が中に隠れていたりします。



・壁際等の駐車場はリアモニターだけを頼りにバックしていると死角となる左右上部の思わぬ突起物等にぶつけてしまうことがあります。不慣れな方については少しでも不安を感じたら、一旦停車して、同乗者の方にサポートしてもらう事が一番のおススメです。

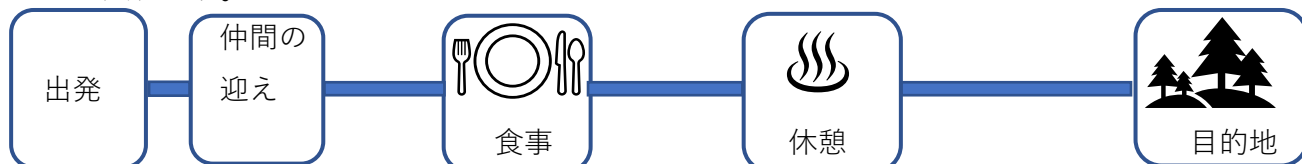
「大丈夫だろう」の判断が楽しい旅行に水を差す事になるぐらいでしたら同乗者に誘導してもらいリスクを減らした方が全然いいですね。



3 事前に走行ルートを探しましょう

・普段乗らない車で慣れない道を運転する事は、とても不安になりますよね。車の出発地、仲間を迎えに行く場所、行きたいお店など、**事前にある程度経由地を決めて道を調べておきましょう。**

・旅の予定を詰め込んで時間に追われてしまうと、焦りからスピードを出し過ぎたり、運転が荒くなってしまいます。急がず運転が出来るように、スケジュールに余裕を持っておくのも大切です。



・高速道路や国道など広い道をルートに設定しましょう。

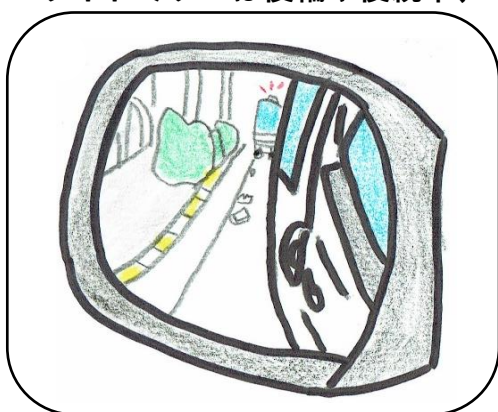


- ・線路下やトンネルがあったら高さを調べておきましょう。

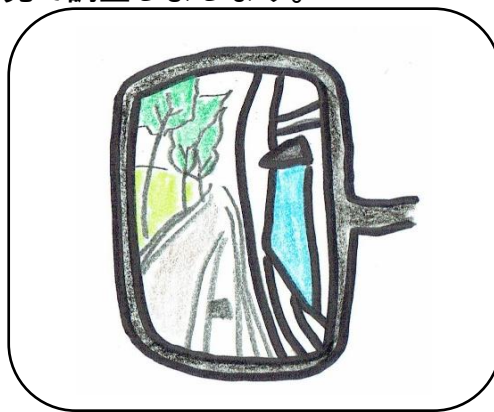


4 ミラーの角度を調整しましょう

- ・サイドミラーは後輪や後続車、地面を見て調整しましょう。



後続車が映る



地面が半分以上映る

5 全席、シートベルトを着用し、荷物は固定しましょう



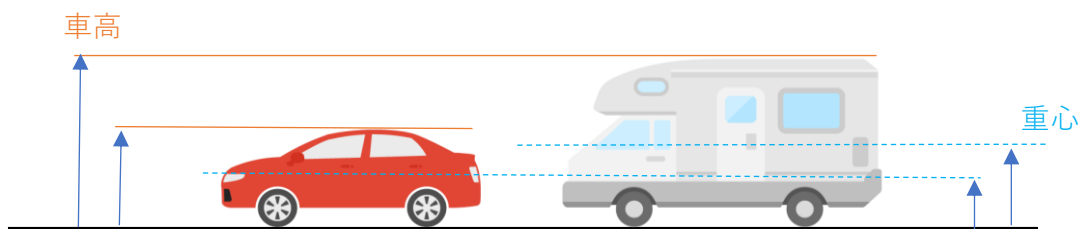
- ・全席シートベルト必須です！！
一般道も高速道も
- ・後ろ向き座席もシートベルトの着用が条件なのでご注意下さい。

- ・運転時のストレスにならない為に**振動音が出ないように荷物を固定**しましょう。
- ・運転していて後方から荷物が跳ねたり、滑ったりする音が聞こえると、無意識のうちにストレスがたまり、安全運転の妨げになります。



6 すべての運転操作をゆっくり行いましょう

- ・キャンピングカーは重心が高く、普通車よりも不安定になりやすいです。

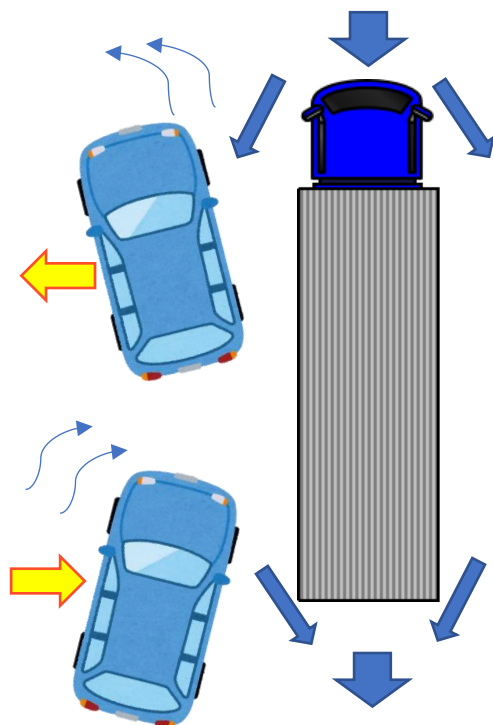


- ・トラックが横を追い抜く時の風圧

キャンピングカーは車高が高く、重心が高いので、大型トラック等が横から追い抜いていく時は横の風圧を受けやすいです。

抜かれ始めは大型トラックと反対側の方向に振られます。そして抜き終わるタイミングでは逆に大型トラックの方向に車体が吸い込まれるような感覚で横に振られます。

低、中速走行ならあまり感じませんが、速度が高くなると影響します。これは是非理解しておいて下さい。いざそのシュチュエーションになった時は、慌てずにハンドルを微調整することができ、急ハンドルを切るリスクを低減する事ができます。



- ・ハンドル、アクセル、ブレーキはこれでもかと思うくらい**ゆっくり**と



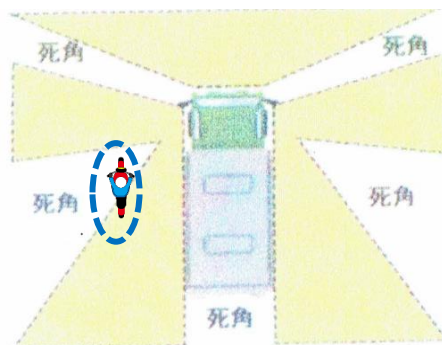
すべての操作を**ゆっくり**と行うことで安定した走行ができます。

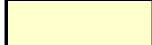
7 交差点は時間をかけてゆっくりと曲がりましょう

・キャンピングカーは死角が多い乗り物です。

交差点を曲がる時、横断歩道の歩行者や自転車の確認のしづらさに驚くと思います。
実はトラックを運転し慣れているプロでも百発百中見逃さないわけではないようです。

特に見逃しやすい！
左後方の死角



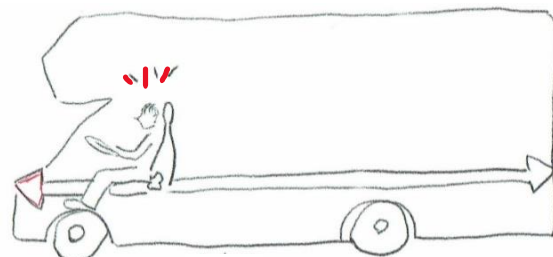
 …見える範囲

8 ハンドルを切るタイミングを若干遅らせましょう

・普通車を横から見たとき、運転席は車全長のほぼ中央にあります。一方、キャンピングカーの場合は車体全長の前の方に運転席があります。



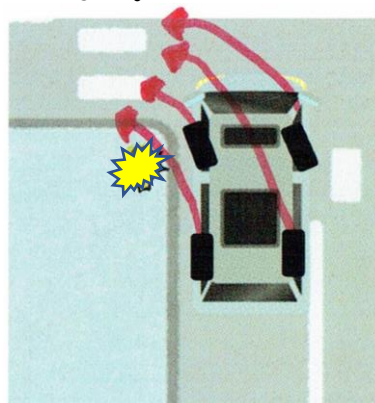
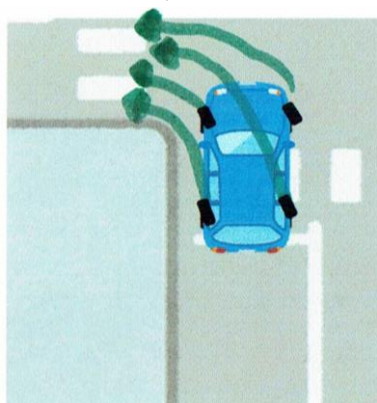
普通車は
中央に運転席



キャンピングカーは
前方に運転席

・同じ視界でハンドルを切っても、車体の動きは大きく違います。感覚と車体の動きにギャップが生まれやすいです。

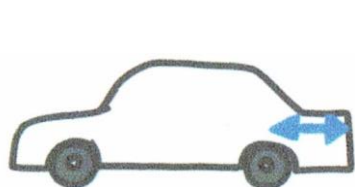
・普通車のタイミングでハンドルを切ると早すぎるんです。交差点やカーブを曲がる時は若干ハンドルを切るタイミングを遅らせましょう。



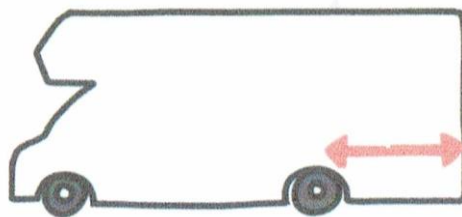
・曲がる時は後輪の動きに注意し、遅めにハンドルを切る
・余裕があれば、交差点やカーブの形に後輪の軌道が沿うように曲がれるようにサイドミラーで後輪の位置を確認しながら曲がりましょう。

9 キャンピングカーのケツ振りに注意しましょう

後輪から後ろの長さをROH（＝リアオーバーハング）と言います。

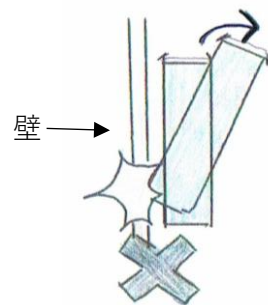
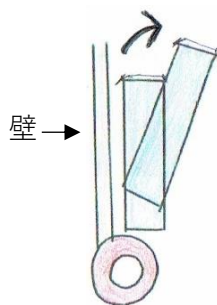
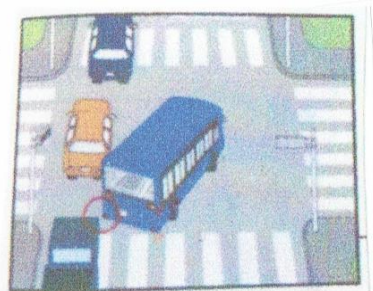


短い



長い

- ・ キャンピングカーはROHが長い。
- ・ ROHが長いとハンドルを切った時に車体の後輪を逆方向に大きく振り出します。
- ・ 左右折の際、事故の原因となる事が多いです。



- ・ ハンドルを**ゆっくり**回しながら徐々に前に進むようにするとケツ振りを最小限に抑える事が出来ます。

狭い道を走る際や両方に車がいる駐車場から出庫する時などは特に気を付けて下さい。

10 困ったら同乗者に誘導してもらいましょう

- ・ 普通車と全く同じように運転出来ないのは、初めてキャンピングカーを運転する人にとって当たり前です。狭い駐車場や道路では同乗者に誘導してもらいましょう。
- ・ 交差点の死角は、助手席の人に見てもらいましょう。

<キャンピングカー運転のポイント>

- ・ 急の付く操作をしない
- ・ スピードを出し過ぎない
- ・ カーブでは十分速度を落とす
- ・ ブレーキは早目に
- ・ 常に高さを意識する
- ・ 交差点は**ゆっくり**曲がる
- ・ 急ハンドルはNG
- ・ 横風注意

<事故になりやすいポイント>

- ・ 道路標識のある場所
- ・ 曲がり角（少し大回りする意識を忘れず**ゆっくり**と曲がりましょう）
- ・ 高さ制限ポイント